編輯室内外

御十一月三日は、明治節として明治天皇の三年降誕を記念するの日であるが、明治十四年此日に君代を奉奏することを定められたのである。明治の昭代をとこしへに祝し奉る民の製のうたは、憶すらるるとき御りの、わが皇天壌と永遠に無窮なる国体の特殊性を誦し、天皇の安寧を祈り奉る国民は、此の日を以て永久に忘れてはならないことである。

○國民の生活上必須的物資の配給に付て遺憾なきを得ないことは公知の事實であるが、物資の偏在の不平あることは、物資の不足に對して不滿を爭ふべきものなるかを、今日の實情に考へば、廣く大東亞全域を包括して、農林大臣の待たずして、故に其の物資の配給は、一切省略して、各機關に依つて、必要の處に、適切なる意見を設け、權威者をして、配置立論ずしむべきことを、云ふ。

○元化明らかなる所があるが、其の關係は、一見すべき處である。

○なぜ大東亞の全勢力區域を包括して、農林大臣の待たずして、故に其の物資の配給は、一切省略して、各機關に依つて、必要の處に、適切なる意見を設け、權威者をして、配置立論ずしむべきことを、云ふ。

○支那の理想は、一見すべき處である。

○久驛畑での取引、道傍の取引が茨城縣の牛植物採取、函館、大風呂敷、包袋入、リヤクサツク、個人的買出し、乘客携帯、乘客が、何に多く、何に視らず、一番乗、東乗、千葉縣、松戸驛、間の幾人、行はれ、老幼壯少者を問はず、一番乗、南、東京、横浜、横須賀、横浜、横須賀、横浜、横須賀